

下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	金	▲	▲	▲	▲	▲	◎
4	月	▲	▲	▲	◎	◎	◎
5	火	13:40	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55
6	水	▲	▲	▲	▲	13:40	▲
7	木	▲	▲	◎	◎		◎
8	金	▲	▲	▲	▲	14:40	◎
11	月	▲	▲	▲	▲	▲	▲
12	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
13	水	▲	▲	▲	▲	▲	▲
14	木	▲	▲	◎	◎	◎	◎
15	金	▲	▲	▲	▲	▲	▲
19	火	▲	▲	▲	▲	▲	▲
20	水	▲	▲	▲	▲	▲	▲
8/29	月	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

給食当番	13:40	▲
掃除当番	14:05	

給食当番	14:30	◎
掃除当番	14:45	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

現時点では、まん延防止等重点措置は発令されていませんが、今後、発令された場合、予定を変更することが考えられますので、ご承知おきください。

下校時刻について

6月後半から、校庭での活動ができない日が多くなっています(WBGT31以上)。昼食後に休み時間を設定し、校庭で遊ぶことができる時間を作っていましたが、校庭が使えない状態になりますので、給食終了後の休み時間を短くし、下校することにしました。

ですので、通常の下校時刻と異なった下校時刻になります。ご承知おきください。

マスクについて

高温多湿の日が続いています。マスクについては、様々な意見があります。厚生労働省のサイトを見ると、屋外で距離が取れる場合(距離は2m)は、マスク不要となっています。また、会話がほとんどない場合の室内でも、マスク不要と書かれています。学校での生活を当てはめると、教室内では、基本的にマスクをつける場面が大半になると思います。一方、登下校や屋外での活動(体育や観察活動など)は、マスク不要になると考えています。しかし、学校では、これまで2年間以上、マスクを着用していくことを子どもたちに求めてきました。今でも食事をする際は、黙って食べましようと言っています。子どもたちも、そういう生活に慣れてしまっています。高学年の子どもの中には、人前でマスクを外すことに強い抵抗感をもっている子もいます。ですので、マスクを外すことを強要することは難しいというのが現状です。

今後は、場面ごとにどう対応するかが求められてくると思います。子どもたちにも、場面ごとに、どうするのが一番適切かを考え、行動するように話していきたいと思っています。



学校だより 7月

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/



荏子田小学校

令和4年6月30日

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4 出前授業 4年	5 委員会活動 スクールカウンセラー 全日 SSW 午前	6	7 箱根宿泊体験学習 5年	8 箱根宿泊体験学習 5年	9	10
11 読み聞かせ 5, 6年	12 音楽集会 2年 クラブ活動 スクールカウンセラー 午後	13 避難訓練	14 芸術鑑賞教室のためのワークショップ 5, 6年	15	16	17
18 海の日	19	20 キッズ会議 給食終了	21 夏季休業 (~8/26)	22	23	24
8/29 朝会	8/30 給食開始	8/31 発育測定 1, 2年、まなび	9/1 総合防災訓練5h お出かけ防災教室 3, 4年	9/2	9/3	9/4

9月の主な予定

- 1日(木) 総合防災訓練
- 16日(金) 授業参観・懇談会
- 22日(木)~30日(金) 個人面談

校庭開放は行いません。

放課後校庭を子どもたちに開放していましたが、気温が高くなりすぎているので、校庭開放は、実施いたしません。

教育相談

本校には、教職員の他に、SC/スクールカウンセラー(坂田寛介)とSSW/スクールソーシャルワーカー(古森むつみ)も、子どもたちの学校生活を見守っています。お子様のことで気になることがあればご相談ください。

予約は、児童支援専任 塚本までお願いします。

6月のある風景から～横に並んで～

昇降口に技術員さん手作りのベンチがあります。

私の一日は、そこに腰かけ、「おはようございます」と子どもたちに挨拶をすることから始まります。

すると、上履きをはきながら、私の横に腰かけて、「あのね、きのうね・・・。」とおしゃべりが始まります。昨日は荏子田公園で遊んでいたら、同じクラスの子がいて、みんなで遊んだそうです。

お話が終わると、入れ替わるように次の子が腰かけ、「暑かったあ！」と言いながら水分補給。

となりのベンチには、1年生が友達と一緒に「子ども新聞」を読んでいます(見ていますが正しいかもしれませんね。)

私からは、「(前日早退したので)具合よくなった?」「(図工の材料を持っているのを見て)今日は何つくるの?楽しそうだね。」など、できるだけたくさんの子に声をかけるようにしています。また、教室に向かう子どもたちの表情も見るようにしています。

なんてことのない日常の一部ですが、この「日常の積み重ね」が、私(児童支援専任)には欠かせないものになっています。いつもの子どもたちの様子を知っているから、「ん?元気がないな。何かあったのかな。」「今日はひとりで遊んでいるな。ちょっと様子を見ていよう。」と気付くことができたこともたくさんあります。

このベンチのいいところは、横並びになれることだと最近感じています。なんとなく向かい合うと話しにくいことも横並びなら話しやすい。そして、ちょっと距離も近くなる。聞いてほしいことがある子ほど、ピタッと体を寄せてきます。

子どもたちが、昨日遊んだ話でも面白かった本の話でも友達とけんかしちゃった話でも「話したいな」と思ったときに、ずっとベンチに腰かけて「あのね、・・・」と安心して話し出せるような関係を、どの子ともつくっていきたいと思います。



(児童支援専任 塚本裕美)

遠足

1年生は、徒歩で虹ヶ丘公園に、2年生と3年生はバスでズーラシアに出かけました。3年生は例年八景島に行くのですが、昨年度、ズーラシアに行けず、代わりに八景島に行ったので、今年はズーラシアに行きました。3学年とも、雨が降るのではないかと心配していましたが、過ごしやすい天気恵まれました。

それぞれの学年の目当てに沿って、グループでの活動に取り組んでいました。晴れ過ぎることもなかったので、ズーラシアに行った2年生も3年生も、活発に活動している動物たちの様子を見ることができました。1年生は、行きも帰りも徒歩でしたが、全員がしっかり最後まで歩くことができました。



鎌倉宿泊体験学習 6年

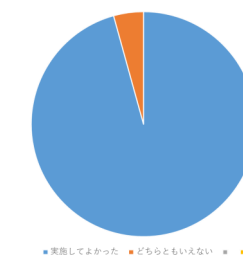
鎌倉宿泊体験学習を実施しました。日光での実施も検討しましたが、まだ、コロナ感染症が散発的にでも発症している現状を考え、県内での実施を選択しました。宿泊先で発熱し、陽性だった場合は、現地までお迎えに来ていただかなければならないことなどを考慮しての判断でした。また、感染リスクが高いと考えられる入浴や宿泊する部屋の環境なども考えると、まだ、今まで実施してきたのと同じように実施するのは難しいと思います。

移動距離が短いため、様々な活動に取り組むことができました。小田原での歴史学習や鎌倉での歴史的建造物の見学、大仏ハイキングコースをみんなで歩いたりもしました。ホテルでは、テーブルマナーを学んだり、鎌倉彫の体験もしたりしました。また、海岸で、ビーチコーミングにも取り組みました。

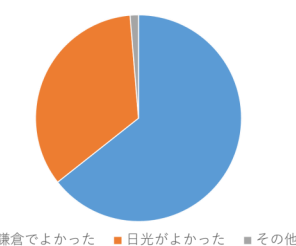
今回の宿泊体験学習への取組について、保護者の方にもアンケートを取らせていただきました。

実施したことについては、96%の方が実施してよかったと回答しています。実施内容については、「子どもたちが、意欲的に活動したと感じられた。」という回答が76%、「子どもたちが充実感を感じることができた。」という回答が87%でした。感染症対策については、78%の方が「十分に対策をとることができていた。」と、回答してくださいました。しかし、一割の方は、「対策が取られていても不安を感じた」という回答でした。鎌倉での実施についてですが、「今回の実施場所よかった」という回答が64%でした。「日光での実施の方が良かった。」という回答が34%でした。6年生=日光という図式ができているのも事実です。また、ご意見にもありましたが、近いよさと近いことの問題点というのも今後検討していかなければいけないと思っています。費用に関しては、73%の方が適正だったと回答してくださいました。一方2割程度の方が高いと感じたと回答されました。

実施したことについて



行先について



天気が良いので、外では遊べません

夏の空の下、晴れ渡った校庭は、しーんとしてしています。一日中、休みの日でもないのに、校庭に子どもたちの声が響き渡ることはありません。新しい夏の光景なのかもしれません。校庭にWBGTを測定する機械を置いています。日なたの気温は、午前中でも40℃を超える日があります。40℃という気温が現実のものになっていることに驚いてしまいます。それも、6月にです。

子どもたちが熱中症にかかることが多くなり、WBGT計を測るようになってから6年目になります。ですから、今の6年生にとっては、小学校に入学したときから、この暑さを感じているということになります。もはや、夏になり、「今日は暑いので、外に出れません。」というアナウンスは普通のことなのかもしれません。

それにしても、子どもたちの声が校庭に響き渡らない日が多くなっているような気がします。確かに、大人でも、外に出ていると、クラッとするような感覚になります。身長が低い子どもたちは、地表からの反射熱も大人以上に影響します。特に、低学年の子どもたちは、被害にあいやすいのだと思います。また、低学年の子どもたちは、自分の体調を感じ取ったり、違和感のある感覚を表現したりすることも難しいです。一段と大人が子どもたちの体調管理をしていかなければいけないと思います。

年々、進んでいっている感のある温暖化。子どもたちの関心も高まっています。総合学習や理科、社会、家庭科など、様々な教科で温暖化に関する課題を取り上げて学習しています。自分たちでできることを見つけたり、原因を考えたり、様々なアプローチで、温暖化をとらえようとしています。根本的な問題を解決することが大切です。しかし、根本的な問題の解決は簡単にできることではありません。それでも、自分たちが少しでもできることを積み重ね、少しでも温暖化問題に関わっていくことが大事だと思います。

(青木 勇)